ヨコスカの市民活動まるかじり

のたろんフェア2018

遊んで学んで2日間

活動紹介、物販、スタンプラリーもあります。
横須賀市内、近郊で活躍する
市民活動団体90団体が集います。

日時　2月10日(土)・11日(日)
10：00～15：00

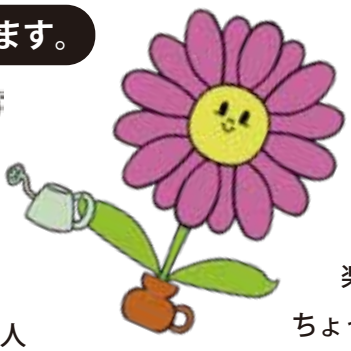
会場　横須賀市立
市民活動サポートセンター
（京急汐入駅より徒歩1分）

のたっち新春号

すかっこの市民活動情報

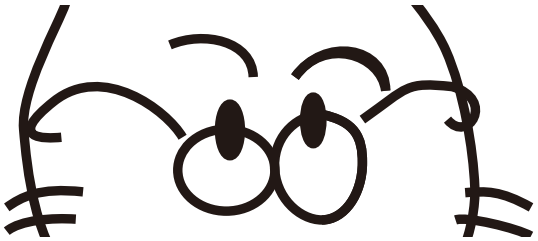
入場無料　参加自由　帰りたくなったら帰れます。

のたろんフェア 2018



これから なにか ボランティアを やってみたい人
市民活動団体といっしょになにかやってみたい人
なんとなくだれかと話がしたいなぁーと思いたった人

楽しい気分になりたい人
ちょっと小腹がすいた人



たとえばこんな団体が参加します。
のたろんフェアに今回、初参加の団体をピックアップ!!

のたろんフェアに遊びに来てください。

日時　2月10日(土)・11日(日)
10：00～15：00

会場　横須賀市立
市民活動サポートセンター
（京急汐入駅より徒歩1分）

sukasuka-ippo

横須賀市の障がい児者、家族の子育て世代の情報をホームページで配信しています。

名前の由来は“横須賀で一歩一歩進もう！”
横須賀のバリアフリー子育て情報局
http://sukasuka-ippo.com

横須賀腎友会

腎臓病を主とする難病患者や障がい者の医療と社会福祉の向上をめざしています。

医療講演会、議会への請願や陳情、行政への要望活動、臓器移植推進、会報の発行、親睦活動

お母さん大学横須賀支局

お母さんはスゴイ！！を伝える新聞「お母さん業界新聞横須賀版」を発行しています。

楽しく子育て。お母さんのネットワークづくりを応援します。
私たちといっしょに楽しく活動しませんか！

健康応援ボランティアの会　カラダっち

「肩たたきマスター認定証」発行します。

「正しい肩たたき」って知っていますか？地域のコミュニケーションを大切にして、健康セミナーやワークショップの開催。福祉、高齢者施設訪問などもおこなっています。

ヨコスカワークショップ　フレンズ

ペーパーアート、トールペイントなど、親子で気軽に参加できるワークショップを開催。

横須賀を中心に活躍するママをメインとしたクリエイターグループです。

よこすかなかながや

子どもたちの居場所づくりをしています。

誰でもＯＫ。子どもの居場所、にぎやかすぎる長屋で遊んで、食べて、学んで

湘南トロピカルビレッジ

横須賀からハワイアンの灯を消すな！

バンドとフラの団体です。
主に追浜のコミュニティセンターや追浜にあるスタジオで活動しています。

アルミ缶でボランティア

アルミ缶を集めることでボランティアができます。

アルミ缶の売却収益を、世界食糧計画ＷＦＰに全額寄付しています。

コール・ゾンターク

ゾンタークとは、ドイツ語で「日曜日」を意味します。休日に集まって歌いましょう。

コーラス・合唱　月２回の練習、コンサートへの出演（月２回）歌曲、ミュージカルなど歌います。

ひと ～市民活動を支える人たち～

手作りオモチャの会　沖（おき） 暁美（あけみ）さん

小柄で元気、「私は、理系」と話される、手作りオモチャの会の沖さんにお話を伺った。

昭和 14 年、横須賀に生まれる。堅物の父と陽気な母、姉、妹弟に囲まれて育った。幼い頃から小柄で体が弱く、姉について遊ぶことが多かった。小学校３年の春休み、ふとした拍子に骨折。１年間のギプス生活となった。翌年、沖さん自らギプスを切った。ギプスをしていた足が細くなっていた。お医者さんから、自分でとれるのだったらもうギプス無しでいいでしょうと言われた。

引っ越しもあり、転校して４年に進級。あたたかな仲間に囲まれ、足も次第に快復。ドッチボール、ゴム跳び、縄跳びとできるようになっていった。

高校３年になる頃、やっと左右の足が同じ太さになった。大学は、横浜国大教育学部の小学校理科専攻。せっかくだからと工学部で実験までして、高校までの教員免許を取得した。クラブ活動はスケート部。足を強くするためと親を説得し、４年間続けた。

父が福祉の仕事をしていた縁で、ろう学校に就職。理科の教諭不足に困っていた校長先生に頼まれてのことだった。校長先生から「普通の言葉で話してくれてよい、わからなかったら板書して読ませればよい」と言われた。当時は、手話を用いず「口話」を使った時代。自分のアイデアでいろいろなことに挑戦した。あるとき、「カエルの解剖」の授業があった。なかなかカエルが手に入らなかったので、カエルをあきらめ、給食の業者から鶏を仕入れて解剖を行った。まわりの先生はびっくりしたという。

ろう学校で 25 年ほど過ごしたとき、他の学校のこどもたちは、どういうことをして楽しむのかな？先生方もどう考えているのかな？新しい環境で実験したくなり、異動願いを出した。

小学校では、はじめ２年生を担任した。まわりの人がよく手伝ってくれた。学級通信とか、夜中、次の日までかかって書いた。36 人の子供たちをプールに入れるのは、どきどきした。通知表を書くのは大変だったが、他のことは楽しかった。今でも、当時の父兄に声を掛けられるが自分は覚えていないこともあるという。

退職後、家でテレビを見る生活になると思っていたが、まなびかんニュースに手作りおもちゃの会の募集があり、興味を持ちすぐに申し込んだ。以来、理系の才能と教員の経験を活かして、学校に出向いての活動やすかっこセミナーなど、様々な場所で活躍している。

小学生の頃から、プラモデルやマッチ棒の家をつくったり、時計を分解して叱られたり。ろう学校では自分でコリントゲームや、教材も作った。ずっと、ものを作り実験をしてきた。「私はパズル形式のものを提案することが多い。動物あわせや、六角パズル。和のおもちゃ、でんでん太鼓、万華鏡。万華鏡はリサイクル品を使って、お金をかけなくて作れる」と話してくれた

手作りオモチャに、若い人たちが興味を持ってくれないかなと思う。簡単にできるし、技術的なものがなくてもやって行ける。手作りオモチャには一生関わって行きたい。

「在職中は、24 時間いつでも子どものことを考え対応しなければならなかった。ボランティアは、楽しい時間だけを過ごせるので、退職してからの方が幸せと、今思う」。今は忙しくてできない「世界一周の船旅が夢」という。

ずっと、子どもと好奇心の中にいて、寄り添ってきた沖さん。自分の時間はなかなか作れなくても、夢は叶えてください。その夢も、きっと好奇心に満ちあふれているのでしょう。

（はこざき）

団体紹介　手作りオモチャの会

身近な部材を使うオモチャ作りと遊びの指導、昔遊びの伝承と普及をしています。活動は幅広く、子ども会、企業や公益法人のイベント、小学校の授業やＰＴＡ行事に協力したり、国際交流事業への参加活動もしています。

毎年５月のGWに、ショッパーズプラザでおこなわれるサポセン協力イベント「チャイルドファクトリー」にも参加してくださり、買物で行き交う親子を楽しませてくれます。

のたろん TagCloud アンケート

サポセンを利用している人に聞きました。

おしえてください。
のたろんフェアでやってほしいコト

アンケートの◎答が全部見られます♪

おばけやしき。でもむずかしいかな？　ジャズ演奏

ダンス　体験教室・ゲームやクイズ　たき火

あったらいいなぁ…

大画面で映画観賞

大道芸とか

授乳室やキッズコーナー

地場野菜をもっと売ってほしい

仮設プラネタリウム

子育て支援の情報がわかる「ママさん広場」　毎年たのしみです

豚汁、煮込みうどん　あったかいもの

健康・趣味・仕事の情報がわかる「シニア大楽」

身体が温かくなる体験などがチョット出来たら楽しいな〜と思います。

エアー遊具（中に入りボヨンボヨンするやつ）

今のままでいいんじゃないかしら。

焼きそば屋さん

昔 実施した事がある、ミニ体験コーナーなどで落語を観てみたい

古着交換会や古本交換会

食事の売店を増やして下さい

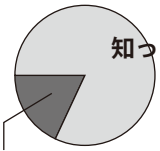
1回20円の輪なげ。賞品は野菜♪

カラオケ大会

イベント参加で福引

もっとPRしたほうがよいと思う
新聞とか一般紙に広告を載せてもらうとか

知っていますか？
のたろんフェア



のたろんフェア、知らない方にもやってほしいこと教えてもらいました。

地震のこと山のこと

昭和44年6月鳳凰三山、7月丹沢水無本谷、富士山（市民登山）8月南アルプス南部縦走。28日夕方横須賀駅集合Kリーダ、S女史と3人身延駅にて仮眠。29日バスにて田代まで、ここから歩き。伝付峠まで登り、初日なのでザックが重かった。昨晩眠れなかったのが響いて、バテバテで水をがぶがぶ飲んで何とか峠まで登りました。峠手前の水場が美味しかった。二軒小屋まで下り泊まる。

30日は、日本三大急登のマンノー沢の頭まで4時間の登り、前の人の靴底が見えた。千枚岳、丸山と越し悪沢岳（荒川東岳）へ。中岳を超えて前岳分岐にザックを置いて前岳往復、荒川小屋に下る。この日は元気に歩けた。

31日赤石岳を超えて、百間洞小屋まで短いです。午前中に小屋に付いて、お餅を焼いて磯辺焼き、目刺で昼飯。小屋番が不在で、ロハで泊まった。翌日は長いコースなので、早めに寝た。一日1時55分起床、3時10分出発。星が綺麗だ。中盛丸山超えて、小兎岳にて日の出を見る。兎岳通過して、避難小屋ここに遭難者の遺品、小屋の外で昼飯を食べた。

聖岳に（日本最南端の3千米峰）登り、小聖を超え上河内岳往復して、茶臼小屋着4時この日は13時間を超える行動でした。

2日最終日、5時出発横窪沢小屋で頭を洗った。沢山吊橋を渡り、ヤレヤレ峠通過、畑薙第2ダムを渡る180mの大吊橋をゆらゆら渡って、第一ダムのバス停に着きました。ここで臭い体を一生懸命洗う。

静岡駅まで3時間半のバス。長い縦走だったが、毎日天気が良く歩けました。山は沢山あります、今後も登ってゆきます。

（松崎健一）

********** サポセンtopics トピックス

NPO法人のルールが変りました

定款（ていかん）変更をおこないましょう

NPO法改正の主な3つ

①事業報告書等の備置期間が約5年に延長
②資産総額の登記が不要に
③貸借対照表の公告が必要に

平成30年10月1日までに、貸借対照表の公告の方法を定款に定める必要があります。
くわしくは、サポセンにお問合せください。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報
◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろんWeb」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻73号）　2018年1月1日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMCAコミュニティサポート
横須賀市本町3-27（京浜急行汐入駅徒歩1分）
TEL 046−828−3130
FAX 046−828−3132
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・みずたに・まつざき　スタッフ／ぬまさき・のぎむら